

さいがいじ ようはいりよしゃ めいぼ
災害時要配慮者名簿へのよくある質問

質問1 登録すると、どんな支援を受けることができますか？

答え

登録者には、災害等が発生したとき、地域の協力者や避難支援等関係者の方より、避難情報の伝達や安否確認等を行います。但し、支援する人も被災するなど、不測の事態が想定されます。名簿への登録は、確実な支援や安全を保障するものではありません。

質問2 具体的に、避難情報の伝達や安否確認とはどのようなものですか？

答え

＜避難情報の伝達＞

大雨や台風などの自然災害の場合は、あらかじめ避難の必要性等が予測できます。そのときに地域等で避難情報のお知らせや声かけを行うことで、早めの避難行動につなげるものです。

＜安否確認＞

避難が必要となったとき、避難所で安否確認を行います。そこで連絡が取れない場合や避難が遅れている場合は、より迅速な救助につなげるものです。

質問3 避難協力者や避難支援等関係者とはどんな方ですか？

答え

＜避難協力者＞

ご近所で情報伝達等の支援に協力をいただける方です。ただし、この支援はボランティア精神に基づき支援を行うもので義務や責任を負うものではありません。

＜避難支援等関係者＞

消防団・警察署をはじめ、民生委員・児童委員、大牟田市社会福祉協議会およびその他協定を結んだ関係機関の方です。普段より情報を共有することで支援体制の構築を図ります。

質問4 引越しなどで登録情報が変わったときは？

答え

登録情報の更新を行いますので、まずは市役所の福祉課 総務企画担当にお知らせください。

問合せ

〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地
大牟田市 保健福祉部 福祉課 総務企画担当 電話：0944-85-0470

さいがいじ ようはいりよしゃ めいぼ
「災害時要配慮者名簿」
に登録しませんか



災害に備えた取り組みについて

本市には、災害等が発生したときに自分だけでは迅速に避難したり、身を守ることが難しく、誰かの手助けを必要とする方が多くおられます。

このため、日頃から手助けが必要な方々を把握し、地域の中で協力して見守りや声かけを行うとともに、災害等が発生したときに備えて準備を行っておくことが重要となります。

そこで、日頃からの見守りや声かけ、災害等が発生したときの安否確認などに活用できるように「災害時要配慮者名簿」の整備を進めます。

支え合いがあるまちは、災害に強いまち

大牟田市

さいがいじ ようはいりよしゃめいぼ
災害時要配慮者名簿について

大牟田市では、災害等が発生したときに手助けが必要な方の登録届出により、要配慮者の名簿を作成します。

要配慮者の名簿を通して、民生委員・児童委員や避難支援等関係者と情報の共有を行います。

日頃より関係者と支援体制づくりを行い、災害等が発生したときには避難情報等の伝達や安否確認に活用していきます。



要配慮者

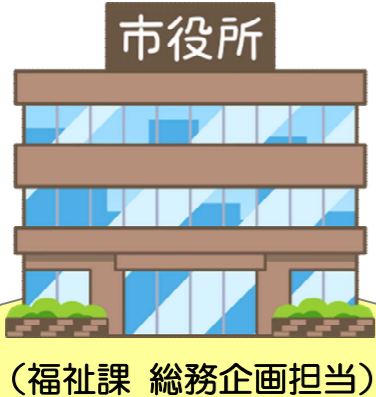
登録

- 日頃の見守り・声かけ
- 災害時の情報提供、安否確認
- 住民同士のつながりづくり



避難協力者
避難支援等関係者

情報の共有



(福祉課 総務企画担当)

<避難協力者>

ご近所で情報伝達等の支援に協力をいただける方です。

<避難支援等関係者>

消防団・警察署をはじめ、民生委員・児童委員、大牟田市社会福祉協議会およびその他協定を結んだ関係機関の方です。

だれが対象になりますか？

下記の①～⑤にあてはまる方のうち、災害等が発生したときに避難したり、身を守るために手助けを必要とする方です。

- ① 要介護認定3～5を受けている
- ② 身体障害者手帳1級・2級を所持している
- ③ 療育手帳Aを所持している
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持している
- ⑤ 上記の①～④に準ずる身体状態で下記のいずれかに該当する
 - 立つことや歩行ができない
 - 物が見えない、見えにくい
 - 顔を見ても知人や家族がわからない
 - 音が聞こえない、聞き取りにくい
 - 言葉や文字の理解がむずかしい
 - 危険なことを判断できない
 - その他、持病等があり、一人での避難に大きな心配がある

どうしたら登録できますか？

上記の①～④に該当される方は、大牟田市 防災危機管理室より、ご自宅へ関係書類を送付します。※既に登録されてある方は手続き不要です。

上記の⑤に該当される方は、市役所に『登録届出書』を提出してください。窓口は、福祉課 総務企画担当（市役所本庁舎1階）となります。ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

日頃から心がけておきたいこと

災害等が発生したときは、誰もが被災者になりますので、支援者からの手助けが受けられないことも十分考えられます。

登録しても「安心して助けを待つだけ」という気持ちにならずに、「自分の身は自分で守る」という気持ちで災害に備えることが何より大切です。

日頃から地域の方と良好な関係を築き、地域活動に積極的に参加するなど、地域とのつながりを大事にしましょう！